

通常の学級における発達障がい等支援事業

趣旨

発達障がい等のある園児・児童・生徒が在籍する幼稚園や通常の学級においてすべての子どもにとって「わかる・できる」授業づくりや保育・学級集団づくりに関する実践研究を行う

事業概要

専門家・教育委員会による実践研究のサポート・地区別研修会による普及・校種間のつながりの強化

実践研究内容

- すべての子どもにわかりやすい授業・保育展開や教材の開発
- すべての子どもが認め合える学級集団づくり
- 学校園全体での一貫した指導
- 幼小中の校種間のスムーズな引き継ぎ



項目	内容
1	...
2	...
3	...

アセスメントシートを活用し、集団や授業の現状と課題を分析し指導の改善につなげる

現状把握から計画、実践、検証をサポート

アドバイザースタッフ

- アドバイザースタッフ(学識経験者)による専門的な指導助言
- ・アセスメントの分析等について * 研究1校園あたり、2年間で5回程度派遣
 - ・個別の教育支援計画・指導計画をふまえた校種間の接続について
 - ・効果検証について

サポートチーム(府教委事務局・教育センター)

- サポートチームによる授業づくり等のサポート
- ・授業づくり・保育の現状把握と改善について
 - ・個別の教育支援計画・指導計画をふまえた校種間の接続について
 - ・効果検証について

アセスメントシート

- アセスメントシートの活用
 - 1 集団等に関するアセスメント
 - ・学級について、子どもどうしのつながり状況
 - ・学校園について、地域や家庭とのつながり状況
 - 2 授業(学習・行動)、保育に関するアセスメント
 - ・学級の園児・児童・生徒について、学習面・行動面の傾向
 - 3 指導方法に関するアセスメント
 - ・指導者自身の指導方法等について

地区別研修会

○府内全幼・小・中学校教員対象(私立幼稚園も含む)に実践交流のための研修会を地区ごとに実施

豊能・三島

中河内

泉北

北河内

南河内

泉南

成果の共有と普及



年間計画

